

ONE TEAM !

使用者委員 米盛庄一郎

2019年9月20日から11月2日まで開催された第9回ラグビーワールドカップは、南アフリカの3度目の優勝で閉幕しました。今回の日本はアジア初の開催地であり、しかもラグビースポーツの人気、海外出身者の選手が多くいることもあり、大会の成功が不安視されていました。また、日本チームは前回大会にて南アフリカに劇的な逆転勝利を得ながら、ポイントの差でベストエイトに残れなかったことがあり、チーム自体の戦力にも不安のある中での開幕でした。ラグビーはルールも複雑で、両チームの15人ずつ30人が入り乱れての激しいぶつかり合いがあるので、女性や子供たちの反応を心配したのも事実でした。しかしながら、開幕してみると多くの観客が試合会場に足を運び、パブリックビューイングで歓声を挙げ、テレビの前で応援をしました。日本中の12会場での試合はほぼ満席で埋りました。また、試合のない時は多くの外国人応援団が日本を堪能したのでした。

今回優勝の南アフリカチームは事前キャンプを鹿児島市で行ったこともあり、準々決勝で日本との対戦のときは鹿児島の方はどちらも応援するという方が多く、また、その南アフリカが優勝したので鹿児島はますます盛り上がりました。鹿児島での事前キャンプの成果が優勝に結びついたのでは？今後とも鹿児島とのご縁が続いていくことでしょう。

さて、今回のラグビーでもよく耳にした「ワンチーム」という言葉は1995年開催のラグビー南アフリカ大会でアパルトヘイト(人種隔離政策)撤廃後の開催で、初出場、初優勝を飾った時の「ワンチーム、ワンカントリー」のスローガンからです。今回の優勝もその精神が受け継がれ、黒人初の主将コリシのもと、3回目の優勝でした。

私たちが仕事や事業を進めたりすると必ず障害が生じます。その原因は様々ですが、解決策は必ずや見つかるはずで、スポーツと仕事・事業は同レベルでは語れませんが、「ワンチーム」の精神を携えて関係者が結びついていければ、必ずや苦難を乗り越えられると思います。「ONE TEAM !」